

まちの としょかんだより



2017.10月 No.3 (中学年)



どくしょしゅうかん
～読書週間～



ほん

おすすめの本

みなさんが住んでいるせいろう町にも、いろいろなお仕事をしている人がいます。中でも「お店屋さん」は、人気のお仕事です。あなたは、この本の中だったらどの「お店屋さん」にしてみたい？

	タイトル	さくしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゅうきごう
1	ハンキーとホンキーのカレー屋さん	むらかみ 村上 しいこ / 作	こうせいしゅっぱんしゃ 佼成出版社	91 Δ
2	大きなおなべのレストラン	たけした 竹下 ふみこ / 文	こくどしゃ 国土社	91 タ
3	ふしぎなぼうし屋さん	おかの 岡野 かおるこ / 作	ポプラ社	91 オ
4	トチノキ村の雑貨屋さん	もいち 茂市 くみこ / 作	あすなろ書房	91 ㄷ
5	ねこじゃら商店世界一のプレゼント	とみやす 富安 ようこ / 作	ポプラ社	91 ト
6	おふろ屋さん	にしむら 西村 しげお / 作	ふくいんかんしよてん 福音館書店	E ニ
7	まち町たんけん ～はたらくみつけた～	あきやま 秋山 とも子 / 作	ふくいんかんしよてん 福音館書店	67 ア

「ねこの風つくり工場 工場見学のお客様」



みずの よしえ / 作
かいせいしゃ 偕成社 (91ミ)

まちはすれの高台には、春風から思い出の風までつくりだす風の工場があります。つくっているのは…ねこ！ いろいろな機械をつかったり、材料をくみあわせて研究したり、毎日おいそがしです。



「江戸のお店屋さん」

ふじかわ 藤川 ともち 智子 / 作
ほるぷ出版 (677)

江戸時代にも、もちろんお店はありました。でも、わたしたちのしているお店とは、だいぶちがうみたい。「唐物屋」はなにをうるお店？「ぼてふり」ってなんだろう？
本をよんで、江戸のお店にタイムスリップしてみよう！



「のぞいてみよう！ 厨房図鑑」



ちゅうぼうざかん 学研教育出版
(67)

「厨房」とは、台所のこと。ふだんは入れないお店の台所を、たくさんの写真でのぞけちゃう一冊です。レストランやケーキ屋さん、ラーメン屋さん…つくる料理がちがうと、台所もみんなちがう！
いろんなちがいをみつけてみてね。

